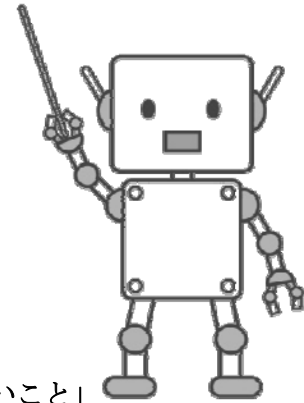


実施報告書

- テーマ：「おもしろロボット教室」
- 講師：松尾孝美 先生（大分大学工学部福祉環境工学科 教授）
- 指導員：学生18名、教員2名、技術職員2名
- 日時：平成24年11月10日（土）
- 会場：大分大学工学部
- 対象：小4から中3までの生徒とその保護者
- 参加者：16名（申込み：24名 22組）
- 開催担当：大分大学工学部知能情報システム工学科 末田直道



■プログラム

1. 講演 13:00～13:30 「ロボットにできること、できないこと」

講師：大分大学工学部 教授 松尾孝美

人間とロボットの違いは何でしょうか。便利なロボット、かっこいいロボット、意外なロボットなどを通して、人間とロボットの関係について考えます。

2. ロボット製作教室 13:30～17:00

- ① 技術チュートリアル:ロボット (LEGO Mindstorms) の組立方、プログラミング (LEGO Mindstorms NXT) の仕方を勉強
- ② 実習:簡単なロボットを組立て、プログラミングして動かす実習
- ③ 発表会:それぞれ作成したロボットをデモ

■開催状況： 参加募集は9月中旬に学会経由で、大分市内の各小中学校に行っていました。参加者が集まるか懸念しておりましたが、半月余りで定員に達し、お断りする状況になりました。

講演会は参加者、保護者、学生など60名近く参加し、ロボットの過去、現在、未来のお話と、ロボットに出来ること／出来ないことを易しく解説していただきました。

ロボットの製作実習は学生チューターがマンツーマンで対応し、組み立てからプログラム実装、実験までを一環して体験してもらいました。指導の基本は参加者が主体的に考え実践し、チューターはサポーター役に徹するという方針で行いました。小4～中2までレベル差はありましたが、それぞれのレベルに適した対応ができたと思います。

課題はラインレースにおける「鋭角なカーブ」、「障害物回避」、「トンネル通過」の3点を与え、それらを全て通過してゴールするというものです。実際に実装して実験をし始めるとなかなかうまくいかず、次第に熱を帯びてきて、保護者の方も参加されて、課題をクリアするごとに歓声が沸き、盛り上がった実習になりました。ゴールまで到達した子、しなかった子も時間があれば、まだまだ続けたいという感じでしたが、皆満足して盛況のうちに終わることができました。

■講演、実習風景



講演会（松尾先生）



実習会場レイアウト



実習風景



実験風景



指導員（学生＋教職員）